

J R 東日本労働組合

NAGANO

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp



2018年 2月 1日 No. 248

JR東日本労働組合

長野地方本部

発行者：臼井幸一

編集：情宣部

2018春闘のたたかいスタート!

要求満額獲得



たたかおう

全組合員でたたかいをつくり出そう!

2018春闘が本格的にスタートしました。安倍首相ら政府が企業側に「3%以上の賃上げ」を求め、経団連も「3%の賃上げ」という社会的期待を意識したうえで、前向きな対応を企業側に呼び掛けています。一方、労働側である「連合」は、ベースアップを2%程度、定期昇給と合わせて「4%程度の賃上げ」を主張しています。

長野県内では連合長野が1月19日に地方委員会を開催し、2017年に引き続きベア2%、定期昇給分2%程度の計4%程度の賃上げを要求する2018春闘方針を決定し、春闘のたたかいがスタートしています。また、非正規労働者の処遇改善を強化し、正社員と同じ労使交渉の場で賃上げ交渉を行うことや、時給千円の実現を目指すことと明記し、県内に多い中小企業労組の支援強化も図るそうです。今春闘で働き方改善の推進も求めていくそうです。

2017春闘は、①社員一律6,000円引き上げること ②定期昇給を実施し、昇給係数は4係数とすること ③「エルダー社員就業規則」を改め、社員に準じて賃金を引き上げること ④「グリーンスタッフ就業規則」を改め、社員に準じて賃金を引き上げること、の4項目の要求に対し、会社側の回答は、①定期昇給を実施し、昇給定数は4とする ②基本給改定を実施し、基本給に1,000円を加える ③満55歳以上の社員の基本給改定を実施し、基本給額1,000円に賃金規定附則第3項を適用した額を加える ④グリーンスタッフの基本給額に500円を加える、でした。

2017春闘は主務職以上と主任職以下の職制によって賃金の格差が広がる賃金改定を許してしまいました。賃金格差の拡大を会社が認めるなど悔しい結果となり、「労働者側の敗北」と言わざるを得ませんでした。

2月3日の本部「第5回中央委員会」、2月18日の長野地本「第5回地方委員会」を「春闘総決起の場」と位置付け開催し、要求の決定や満額獲得へ向けた意思統一をしていきます。委員会への参加を要請するとともに、各支部・分会でもそれぞれが創意工夫した運動をしていただくよう、お願いいたします。

全JR労働者の総力で2018春闘をたたかおう!!